

M O N T H L Y

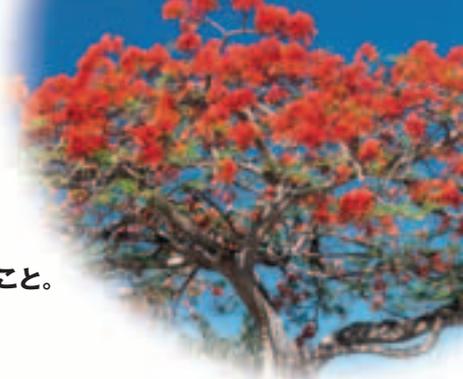
vol.49

U P

製本に注目の巻。



強くてキレイが理想です。 印刷の最終工程、製本。



製本とは、印刷した紙を折って綴じ合わせ、本の状態に仕上げること。
でも、その方法はさまざまです。代表的な「綴じ方」を紹介し、
製本の世界に迫ってみたいと思います。

日頃、何気なく手にしている雑誌やカタログ、パンフレット…。デザインや写真の色味には注目しても、綴じ方について意識することは少ないと思います。そこで今回は、製本についての興味深いお話を。

そのはじめりは、巻物でした。紀元前30世紀頃のエジプトでは、継ぎ合わせたパピルス草の両端に軸をつけ、丸めて円筒におさめていたようです。この巻物こそ、世界で最初に製本された書物という訳です。その後、ヨーロッパでは、羊皮紙を革紐で綴じたものが登場。グーテンベルクの印刷革命を経て、表紙をビロード素材にしたり、箔押しするなど、特殊な施しがなされるようになります。こうして製本が、職人的技術として発展していきます。

一方日本では、書写の末尾に軸をつけた巻子本かんすほんが長らく使われていました。しかし巻物形式では、部分的に読みたい場合も、全部広げなければならず不便です。そこで、巻かずに折りたためる、折本が登場します。平安時代になると、折本の欠点(何度も使っていると折り目がすり切れてしまう)を解消した和綴じ本が出現し、日本独自の発展を遂げていきます。文明開化以降は、西欧文化とともに洋本式製本が普及。現在、製本と言えば洋本式のことを指すほど一般化しています。

この一般的な製本として、上製本と並製本があります。上製本とは、表紙と本文を別々に製作し、後工程で接着する作り方をした本のことです。表紙材や装丁の自由度が高く、表紙が本文より一回り大きいいため、開きやすく読みやすい本作りが可能。

上製本は高級感があり、優れた耐久性が特長です。かつての編集者たちは、ページをひっぱるなどして、出来上がった書籍の強度を確かめたという話も。

次に並製本ですが、これは表紙も中身も同時に製本し、三方裁ちで仕上げる方法。主な綴じ方として、以下の4つがあります。

◆無線綴じ…本文の背を裁ち落とし、糊で固めます。表紙も背の糊で固定。手軽で、スピーディですが、耐久性にはやや難があります。

◆網代綴じ…背の部分に切れ込みを入れて糊で固定し、表紙を貼り付ける方法。背をすべて裁ち落とさないことで、無線綴じより接着力がアップします。

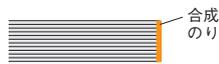
◆中綴じ…表紙と中身を重ねて、折り目の部分を針金で綴じる製本です。週刊誌などでよく利用され、あまり手間がかからない方法。ただし本が厚くなるほど、中心ページの仕上がりが幅が小さくなるので注意が必要です。

◆平綴じ…丁合した刷本の背から5mmほどの位置に針金で一括して綴じ、表紙を糊付けする方法。丈夫な作りですが、のど部分まで開かないので、扱いにくい場合もあります。

ライン化、コンピュータ管理、乱丁や落丁に対する嚴重なチェック、多品種・小ロット化への対応など、製本工程もより高品質へと日々発展しています。これまで、注目されることが少なかった製本ですが、その世界を知ることによって、より効果的な印刷物づくりにつながるかもしれません。

製本断面図

◆無線綴じ



用途例(コミック誌・文庫本・写真集・雑誌)

◆網代綴じ



用途例(一般書籍・文庫本・辞書)

◆中綴じ



用途例(週刊誌・パンフレット・小冊子)

◆平綴じ



用途例(教科書・報告書)



<http://www.sezax.co.jp>

- | | | | | |
|-----------------------------------|--------------------------------|-----------------------|-----------------------|--------------------|
| <input type="checkbox"/> 本社・工場 | 〒146-0091 大田区鵜の木2-9-7 | TEL 03 (3758) 2511(代) | FAX 03 (3758) 2754 | |
| | | 営業専用 | FAX 03 (3758) 2544 | |
| <input type="checkbox"/> 渋谷コア | 〒150-0002 渋谷区渋谷3-19-1 渋谷オミビル6F | TEL 03 (3400) 9211(代) | FAX 03 (3409) 7315 | |
| | | 5F | TEL 03 (3400) 9401(代) | FAX 03 (5468) 9253 |
| <input type="checkbox"/> マニュアル企画部 | 〒146-0091 大田区鵜の木2-9-7 | TEL 03 (3758) 2591(代) | FAX 03 (5482) 2777 | |
| <input type="checkbox"/> 下丸子工場 | 〒146-0092 大田区下丸子2-20-4 | TEL 03 (3758) 2516(代) | FAX 03 (3758) 8850 | |

株式会社セザックスクリエイティブ

〒150-0002 渋谷区渋谷3-19-1 渋谷オミビル2F TEL 03 (3409) 4970(代) FAX 03 (3409) 2732

株式会社セザックスインターナショナル

〒150-0002 渋谷区渋谷3-19-1 渋谷オミビル2F TEL 03 (3409) 0527(代) FAX 03 (3409) 6610



VOC(揮発性有機化合物)成分ゼロの地球にやさしいインキを使用しました。

この小冊子は再生紙を使用しています。